

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 10文書広報費

◎広報活動の経費

広報事業

広報課

【総合計画上の位置づけ】

計画の推進
市民参画・協働の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市政情報その他の情報を的確に市民等に伝えるため。

効果 市民の市政への参加及び参画を促進し、市政等に対する理解を深めてもらう。

【事業の内容】

- (1) 広報事業
 - ・メディアセンター、日本広報協会に係る事業を行った。
- (2) 印刷広報事業
 - ・広報かまくらを製作、発行した。
- (3) 視聴覚広報事業
 - ・KCC、かまくらFMへの市政番組放映・放送の委託、広報板の維持、ホームページの管理事業等を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

広報紙刷新事業(7-1-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,307	76,607	75,634		973
主な支出内訳				
・ 広報事業				
日本広報協会負担金				42
・ 印刷広報事業				
広報紙編集嘱託員報酬 6人				7,776
広報紙製作委託料 8ページ 77,000部 22回(内1回は4ページ増)				15,632
広報紙配布委託料 8ページ 22回(内1回は4ページ増)				17,687
・ 視聴覚広報事業				
ホームページ管理嘱託員報酬 1人				1,296
市政番組放映・放送委託料				27,653
広報板ポスター掲示・巡回管理委託料				844
ホームページ検証等業務委託料				346
ホームページ更新システム賃借料				1,782

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 経企-11 広報事業 ☒ 支 援 部 門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	457 広報事業							
		458 印刷広報事業							
		459 視聴覚広報事業							
主管課	広報課		関連課						
分野名	市民参画・協働の推進								
目標 (目標値)	広報活動の充実								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	75,634千円	73,347千円	71,260千円	・広告料収入 ・市町村振興協会交 付金				
	(国・県)								
	(負担金等)	5,620千円	5,442千円	5,422千円					
	(一般財源)	70,014千円	67,905千円	65,838千円					
	人員配置数	5.0人	6.0人	6.0人					
	人 件 費	48,386千円	57,230千円	56,237千円					
	協 働 の パートナ ー	点訳赤十字奉仕団、朗読録音 奉仕会、市民チャンネルボラン ティア	点訳赤十字奉仕団、朗読録音 奉仕会、市民チャンネルボラン ティア	点訳赤十字奉仕団、朗読録音 奉仕会、市民チャンネルボラン ティア					
事務事業 運営経費	総事業費	124,020千円	130,577千円	127,497千円					
	市民1人当 りの経費	703円	742円	728円					
	対象者1人 当りの経費		—	—					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
印刷広報事業	—	子ども版広報かまくらを発行(カラー4ページ)			④				
視聴覚広報事業	—	市民便利帳の協働発行(7月発行)			④				
"	1,440	ホームページ充実のため、専任の嘱託員を設置			④				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
市ホームページに対する評価(行政情報を 市のホームページから入手できているかど うかのアンケート指標)	◎	目標値	56%	57%	58%	59%	64%		
		実績値	56.1%	57%					
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
ホームページアクセス件 数(トップページ)	◎	目標値	92,000件	93,000件	94,000件	95,000件	100,000件		
		実績値	82,455	113,959					
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	相模原市	秦野市	厚木市	伊勢原市
広報紙ページ数 (タブロイド判)	8	4と8	8	12	8	12と16	8と4	8	8と4
月発行回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	海老名市	座間市	綾瀬市						
広報紙ページ数 (タブロイド判)	8	10～8と6～4	8～10と4						
月発行回数	2	2	2						

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・市民等が知りたい情報を的確に分かりやすく、様々なメディアを活用して提供していくことが求められている。 ・広報紙面づくりやホームページ等インターネットを活用した情報提供において、職員のより高い技術の習得が求められる。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・広報紙は写真、図表等を活用するとともに表現も分かりやすく、読みやすく工夫した。 ・多くの人に読んでもらうために、子ども版広報(カラー4ページ)を1回発行した(11月)。 ・ホームページについては、講座・イベントや市民便利帳など、トップページのコンテンツの追加やフッター等の表現の整理など、より分かりやすくするとともに内容の充実を図った。 ・市民便利帳の内容を見直し、行政情報に「まち」の情報を加え、事業者と協働発行した(7月)。 ・ホームページ充実のため、専任の嘱託員を設置した。 ・市役所全体の広報活動の充実に取り組んだ(広報担当者会議の開催・手引きの作成)。
	未解決の課題・問題点	・広報紙については読みやすく、分かりやすく改善等を行っているが、まだ十分とはいえないため、市民等が求めている情報を的確に把握し、表現も含め、より分かりやすい広報紙としていく。 ・利用しやすいホームページに向け、内容を充実させ、さらに満足度の向上を図っていく。 ・ホームページの多言語化を検討する。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・より分かりやすい広報紙としていくため、全庁的な意識改革を促していくとともに、当課における編集業務を充実していく。 ・職場研修などを活用し、技術習得に努めていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	・庁内組織を活用し、各課の情報提供について充実を図る ・ホームページの内容充実と各課担当者の技術習得に努める				
担当課長氏名:		原 田 幸 子			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	・様々なツールを効果的に活用した情報提供に努めていく ・ホームページ利用者の満足度を高めていく				
担当部名	経営企画部	部長名	小 村 亮 一		